

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	卒業制作	
科目基礎情報					
開設学科	土木・造園科	コース名		開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	240時間
単位数	8単位	授業形態	実習		
教科書/教材					
担当教員情報					
担当教員	山内隆文、佐藤光宏、柳川恒之、鶴田貞二、小山恵久、右田順三、熊谷直紀、松浦弦三	実務経験の有無・職種	有・施工管理、造園・土木設計		
学習目的					
<p>これまでの学習内容の総まとめとして位置付けられるものであり、半年をかけて課題に取り組む中で、これまで学んできたことを生きた知識・技術・技能として身につけることを学習目的とする。</p>					
到達目標					
<p>次の4点を到達目標とする。</p> <p>① 土木・造園それぞれの学習内容を目の前の現実に応用できる。</p> <p>② 自分と考え方も能力も違う人間とコミュニケーションをとって協働作業を成立させることができる。</p> <p>③ 安全かつ正確に作業を進めていくことの重要性を理解する。</p> <p>④ 真剣に取り組み、最後まであきらめず完成させることで、社会に出て活躍するための自信を持つことができる。</p>					
教育方法等					
授業概要	<p>テーマごとにグループに分かれて制作を進めていく。したがって、グループ内での自らの役割を見極め、積極的に取り組む姿勢が肝要となる。制作物とともに成果をパネル等にまとめ、卒業展での発表へとつなげていく。</p>				
注意点	<p>建設機械類を使用する場合は、必ず教員の許可と立ち合いのもとで使用すること。ヘルメットや手袋の着用など、教員の指示に従うこと。服装は作業に適したものであること（サンダル、短パン等は認めない）。チームでの協力が欠かせないため、勝手な行動は慎むこと。その他、これまでの実習で学んできたことを一つ一つ確実にこなすこと。理由のない遅刻や欠席、早退は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は単位を認定しない。</p>				
評価方法	種別	割合	備考		
	試験・課題	50%	実習課題への取り組みを総合的に評価する。		
	成果発表 (口頭・実技)	30%	実習課題に対する到達度、成果を評価する。		
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	ガイダンス、テーマ検討	卒業制作の流れおよびテーマ決定に必要な事項について理解する。			
2回	グループごとにテーマ詳細検討	メンバーとコミュニケーションをとりながら、意見をまとめることができる。			
3回	調査・計画・設計①	施工計画の立案にあたり、現地調査を確実にこなすことができる。			
4回	調査・計画・設計②	作業内容、工程、材料拾い出し、積算ができる。			
5回	調査・計画・設計③	作業内容、工程、材料拾い出し、積算ができる。			
6回	調査・計画・設計④	計画について、中間発表用の資料にまとめることができる。			
7回	中間報告会①	第三者が理解できるように計画についてプレゼンテーションができる。			
8回	施工①	立案した計画に沿って、安全かつ効率良く施工を進めることができる。			
9回	施工②	立案した計画に沿って、安全かつ効率良く施工を進めることができる。			
10回	施工③	立案した計画に沿って、安全かつ効率良く施工を進めることができる。			
11回	施工④	立案した計画に沿って、安全かつ効率良く施工を進めることができる。			
12回	施工⑤	立案した計画に沿って、安全かつ効率良く施工を進めることができる。			
13回	施工⑥	立案した計画に沿って、安全かつ効率良く施工を進めることができる。			
14回	施工⑦	立案した計画に沿って、施工を進めるとともに、中間発表用の資料をまとめることができる。			
15回	中間報告会②	第三者が理解できるように工事の進捗についてプレゼンテーションができる。			
授業計画（16回～30回）					

回	授業内容	各回の到達目標
16回	施工⑧	立案した計画に沿って、安全かつ効率良く施工を進めることができる。
17回	施工⑨	立案した計画に沿って、安全かつ効率良く施工を進めることができる。
18回	施工⑩	立案した計画に沿って、安全かつ効率良く施工を進めることができる。
19回	施工⑪	立案した計画に沿って、安全かつ効率良く施工を進めることができる。
20回	施工⑫	立案した計画に沿って、安全かつ効率良く施工を進めることができる。
21回	施工⑬	立案した計画に沿って、安全かつ効率良く施工を進めることができる。
22回	施工⑭	立案した計画に沿って、施工を進めるとともに、成果発表用の資料をまとめることができる。
23回	成果発表会	第三者が理解できるように成果についてプレゼンテーションができる。
24回	成果物まとめ①	卒業展に展示できるレベルのパネル、模型等を制作することができる。
25回	成果物まとめ②	卒業展に展示できるレベルのパネル、模型等を制作することができる。
26回	成果物まとめ③	卒業展に展示できるレベルのパネル、模型等を制作することができる。
27回	成果物まとめ④	卒業展に展示できるレベルのパネル、模型等を制作することができる。
28回	成果物まとめ⑤	卒業展に展示できるレベルのパネル、模型等を制作することができる。
29回	成果物まとめ⑥	卒業展に展示できるレベルのパネル、模型等を制作することができる。
30回	卒業展 準備	卒業展の展示について、さまざまな視点から検討することができる。